

# あなたも西部地区合同教研集会へ

静岡高教組

原発問題、景気回復、雇用問題、TPP問題、年金問題、外交問題、等々政治課題が山積しています。それなのに政治は党利党略に明け暮れ、前へ進む様子が見えませんでした。そんな民主に圧勝した自民党は、憲法改正をもくろみ、教育制度を大きく変えようとしています。そんな日本には不況の嵐が吹き荒れ、希望を持って船出するはずの高校生の未来を覆っています。就職が決まらなかったり、大学への進学を断念せざるをえなくなるなど、高校を取り巻く状況にも暗い影を投げかけています。一方、学校の多忙化が進み、生徒や隣の先生とじっくり話しをする時間もなくなり、教育が見えなくなりつつあるのも事実です。

そんなゆとりが消えた職場で、悩みを一人で抱え込んでしまい、八方ふさがりに陥ってしまう状況も見受けられます。「苦悩しながらもできる限りの努力や責任を持って(困難な)児童に対応していた」磐田市立小学校に新規採用されていた木村百合子さんの公務災害が認定されました。新人教師の自死をめぐって、一旦公務外と認定されたものを地裁で覆したはじめてのケースでした。教育をめぐっては、数々の法律問題が起きていますが、教育のあり方や教師同士の連携のあり方について今一度考えてみたいと思います。

悩みを抱えた時には悩みを仲間と共有することで気持ちが楽になったり、別の視点を獲得して元気をもらうというようなことはよくあります。ぜひこの教育研究集会に参加して、悩み、考え、リフレッシュして、明日からの元気をもらいましょう！

会場 浜松工業高校・同窓会館

日時 2月9日(土)

- |               |                                   |
|---------------|-----------------------------------|
| 9:30          | 受付                                |
| 10:00         | 全体会                               |
| 10:10 ~ 12:00 | 講演<br>「木村裁判から見えてくるもの」 小笠原里夏氏(弁護士) |
| 12:00 ~ 13:00 | 昼食                                |
| 13:00 ~ 15:30 | 全大会                               |

教育を取り巻く環境について、生徒や教師をめぐる問題について、みんなで考えましょう。

- |                    |                 |
|--------------------|-----------------|
| 不登校気味の生徒に対する指導について | HR指導について        |
| 多忙化の問題             | 職員評価制度をめぐる問題    |
| 教員免許更新制度について       | 入試制度について        |
| 教師の抱える問題について       | 木村裁判から見えてくるもの等々 |

問い合わせ先 浜松湖東高校053(485)0215 今田久帆

弁当も  
出るよ